

看護学部

看護学科

No.	テーマ	内容	教員名
169	21世紀の国民病、糖尿病ってどんな病気？ 一病とともに生きる人を支える看護師の役割ー	我が国の成人での糖尿病患者さんは「10人に1人」といわれるようになりました。非常に身近な病気になってきました。初期の糖尿病では自覚症状がほとんどないため、軽く捉えてしまいがちです。しかし進行すると命にかかわるような合併症を引き起こすこともある怖い病気です。糖尿病になると、食生活や運動習慣を見直し、血糖値が上がらないように一生コントロールしなければなりません。そんな患者さんを支える看護師の役割は大きいのです。糖尿病について、患者さんを支える看護師の役割についてお話ししたいと思います。	青木 郁子
170	看護におけるコミュニケーション	看護師は患者との関わりが最も近い職種です。患者との人間関係を構築してより良質な看護を提供するためには、コミュニケーションがとても重要なスキルとなります。看護のあらゆる場面の基盤といえます。しかしながら、多様化複雑化した社会において、良好なコミュニケーションスキルを身につけるのは容易ではありません。日々、コミュニケーションエラーが起きています。そんな中、患者に親身に寄り添うためのコミュニケーションスキルがあります。違いが実感できる体験型演習も交えてお話しします。	阿部 恵子
171	看護の大学で学ぶこと	大学の授業は高校までの授業と違い、将来、皆様の職・社会生活に影響する専門的な内容を学ぶ場になります。特に看護大学における学びは資格取得にもつながります。看護大学の授業の一部をご紹介します。体験をしながら学修への準備や看護者としての適性などを自身で考える機会にさせていただきたいと思います。	飯盛 茂子
172	さわやか自己表現 (アサーティブコミュニケーション)	自分も相手も大切にすることをコミュニケーションの技法です。相手からの反応などを気にするあまり、自分の気持ちや考えを相手に伝えられない。あるいは、攻撃的に自分の主張を相手に押し付け自分の思い通りに相手を動かすなどのコミュニケーションは、いずれも自分や相手を大切にできていません。自分の気持ちや考えをその場の状況に合わせて率直に表現する技法を学びましょう。	磯野 洋一
173	グローバル化と感染症の関連について	グローバル化とは、人、物、サービス、資本、情報、文化、経済など、人間の様々な営みが国の枠組みを越えて地球規模に拡大することをいう。外国での労働、海外旅行などで、人々の移動量は増加し、また移動する地域も拡大する。このことによって、感染症の拡散はよりたやすく、そしてより速くなった。授業では、地球温暖化やグローバル化する社会の視点から感染症をとらえ、看護学の周辺にある知識に視野を持つ機会としたい。	市川 誠一
174	大学で看護学を学ぶ意義	看護職の国家試験の受験資格は、大学、専門学校を問わず得ることができます。こうした中で、看護分野において大学が果たす役割に期待が高まっています。大学と専修学校の学修内容の違い、大学教育の特徴についてお話しします。	伊藤 眞由美
175	外国人患者さんへの異文化看護	世界のグローバル化に伴い、日本の在留外国人は増加しており、令和5年6月の在留外国人数は322万人を超え（前年末比4.8%増加）で、過去最高を更新しています。 厚生労働省による病院調査では、在留外国人患者さんの受入実績「あり」と回答したのは5割となりました。看護師は、外国人患者さんへの看護を行うにあたり、言語や文化、生活習慣の違いなど様々なことを考慮した異文化看護を行っていかなくてはなりません。この授業では異文化看護について解説していきます。	上杉 裕子
176	子どもの看護から考える 「看護師の役割」	子どもを取り巻く社会が激変するなか、その変化は子どもの健康に大きな影響を及ぼしている。小児看護に携わる看護者には、子どもを「権利を有する一人の人」として尊重し、いかなる状況においても子どもの健やかな成長と発達を保障するかわかりが求められます。子どもの看護について学び、看護師の役割について理解を深めましょう。	鍵小野 美和

金城学院大学 2024出前授業

177	最期までその人らしさを支える エンドオブライフケアとは	現在の日本は多死社会と言われています。生きている私たちにとって、死は避けることができません。近年では、医学の発展に伴い、多くの人の命が救われるようになってきましたが、病気の治療が難しくなり終末期に至る人もいらっしゃいます。患者さんが人生の最期のときまで、その人らしく生きることができるよう、看護師はどのようなケアを提供しているのかについてお話をします。この授業を通して、生きることや人生を終えること、自分らしく人生を生きるためにどうしていきたいのかについて一緒に考えてみましょう。	加藤 亜妃子
178	覗いてみよう！こどもの世界	小児看護学は健康や病気に関係なく、すべてのこどもを対象とした看護を学ぶ学問です。小児看護を実践するには、こどもの成長・発達の理解が必要となります。こどもの成長・発達の中でも感覚器（主に視力・視野）に関するを中心に学び、体験（演習）を通してこどもの援助について一緒に考えたいと思います。	加藤 千明
179	プレコンセプションケア ～未来に向けてもっとステキな自分になろう～	「プレコンセプションケア」とは、女性やカップルに対し将来の妊娠のための健康支援をすることです。妊娠や出産、生まれてくる子どもの健康は、女性だけでなく、男性の影響も受けます。男女にかかわらず、また妊娠を希望する・しないにかかわらず、すべての人がヘルスリテラシーを高め、健康的な生活を送ることが大切です。この授業では、皆さんの将来のライフプランに関わる性と生殖についてお話しします。	藏本 直子
180	肢体不自由に関連する病気と支援	肢体不自由とは、手や足や胴体の運動が病気や怪我で損なわれ、長期にわたり歩行などの日常生活動作に困難がともなう状態のことです。原因となる代表的な疾患は、脳性麻痺、筋ジストロフィーなどで、現在の医学でも根本的な治療が困難です。そのため、リハビリテーションや社会全体の支援が特に重要です。代表的な病気の特徴や、肢体不自由児への支援について、学んでいきましょう。	鷲見 聡
181	思春期・成人期における女性に必要な栄養について考えてみよう！	思春期・成人期に着目し、女性に必要な栄養素について「なぜ・どうして？」の視点から学び、対処・解決方法を考えていきます。大学での勉強はただの暗記ではない、興味ある事の探求の仕方、大学での学び方や考え方を体験してみましょう。	坪井 秀介
182	訪問看護って何だろう？	「看護師」と聞くと、白衣を着て病院で働いている人をイメージする方が多いのではないのでしょうか？しかし、病院で治療やケアを受けた後は自分のお家に帰ります。治療の途中や病気を抱えながら生活する人を支える職種の一つに「訪問看護師」というものがあります。訪問看護師の役割や援助の実際について簡単にご紹介し、地域で支える看護について皆さんと一緒に考えます。	鍋島 純世
183	職業感染から身を守るために！	職業感染とは医療従事者（医療系学生を含む）が業務中に様々な感染症に罹患した場合があります。その中には針刺しや鋭利機材による血液・体液曝露や流行性ウイルス感染症があります。これらを予防するための対策や対応についてお話しします。	畠山 和人
184	人生100年時代に向けて ～健やかな生活への継続に向けた支援～	人生100年時代と言われるようになった中で、出来る限り健康で生き活きと過ごすためには、日頃からどのようなことに気を付けて生活すればよいのでしょうか。昔から、病は気からと言われているため、ストレスを溜めない、楽しみを見つけるなどが言われていますが、最近ではフレイル予防が重要と言われています。一人で簡単にできる体力を維持するための運動や認知症予防の脳トレ・コグニサイズなどを紹介していきます。	福田 峰子
185	看護職とは何をする人たちか ～大学で看護学を学ぶ～	看護職の社会的役割と看護学の基礎教育が専門学校から大学に移行している現状を説明し、仮想ケースへの看護を考えてみることを通して、優れた看護実践のためには一般教養及び専門知識の両者が大切であることに気づいてもらう。	松浦 利江子
186	高齢者とは？ ～高齢者とのかわりで大切なこと～	超高齢社会の中、高齢者がいつまでも安心して暮らしていけるように。私たちは、人生の大先輩である高齢者の理解とやさしい気持ちが大切です。加齢に伴う心と体の変化、少しでも長く健康な生活ができるような支援、高齢者とのかわりで大切なことを一緒に学んでみませんか。	松田 武美

金城学院大学 2024出前授業

187	マタニティマークについて学ぼう！	マタニティマークは、妊産婦さんにやさしい環境づくりを推進するためのものです。みなさんも、公共交通機関の優先席などで見かけたこともあるのではないのでしょうか。このマークを身につけた妊婦さんを見かけたら、どのように支援をしたらよいのでしょうか？妊娠による身体的、生理的变化を学び、妊産婦さんへの支援を考えてみましょう。	水野 妙子
188	地域で生活する人々を支える 公衆衛生看護 ー保健師の役割ー	新型コロナウイルス感染症の蔓延の中、保健師の活躍はメディアなどにも取り上げられています。しかし「保健師」というのはどのようなお仕事なのでしょうか。保健師の活動は、感染症への対応だけではなく、あらゆるライフステージのあらゆる健康レベルの人々を対象とし、地域で生活する様々な人々の健康の保持・増進のため活動しています。この授業では、保健師の役割や専門性についてわかりやすくお話しします。	山口 知香枝

※ 授業は約50分を予定しています。

【お申込み・お問い合わせ】

金城学院大学 入試広報部

電話：0120-331791 e-mail：nyushi@kinjo-u.ac.jp



本学「受験生応援サイト」